



浦小通信

知内町立浦元小学校
～重点教育目標～
主体的・対話的に学び、
自らを磨き、高め合う子
平成30年11月16日発行

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について（お知らせ）

本調査の結果が、過日届けられました。学校では結果分析等をもとに、学習指導の改善・学力の向上に努めているところです。結果及び今後の改善策につきましてお知らせいたします。

【本校の全体的な傾向】

本校児童の今年度の結果は、国語A・B問題と理科においては全国平均より約10%高い正答率、算数においては全国平均とほぼ同じ正答率でした。児童質問紙で明らかになった課題としては、読書時間と学習時間の少なさが上げられます。「学習」「家庭学習」「生活習慣」は密接な関係にあり、相乗作用があります。学習指導の他、読書習慣、望ましい生活習慣、についても、継続的な家庭のご協力をお願いします。

【国語】

選択式の解答では正答率が高く、文章を読むことはよくできています。反面、記述での解答を求める問題では、指示に応じたまとめ方に苦慮したり、無回答になっている部分がありました。「求められている解答方法に合わせて書く」ことに課題が見られます。

＜国語A問題＞ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

【例】 文の中の主語及び主語と述語との関係を正しく理解する。

＜国語B問題＞ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

【例】 物語の登場人物の行動を基にして、人物の心情の移り変わりを理解する。

＜算数A問題＞ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

【例】 四則計算の約束や面積の求め方等に従って、正しい数値を導き出す。

＜算数B問題＞ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

【例】 図形の性質を基に、示された角の大きさになる理由を算数の用語を使って記述する。

【改善策】◆児童の理解力や表現力の向上を図る取組を進めます。

- ・決められた条件の中で書き表す指導の重点化や日常の学習で、自分の考えをまとめ、書く活動に多く取り組みます。
- ・一定の時間内で一定量の文章が読めて、内容を理解することができるように、読む活動を継続していきます。

【算数】

円周率の意味や小数のわり算の立式の意味など、5年生で学習した内容の定着率があまりよくありません。B問題では、問題文から必要な情報を読み取ることに課題が見られました。中には無回答の設問も見られました。

【理科】

学んだ知識・理解を自然現象の理解や日常生活に生かすことなどに、経験不足が原因による、問題解決力や応用力の弱さ等が見られました。

【改善策】◆基礎・基本の定着強化を図る取組を進めます。

- ・低学年時から、かけ算・わり算の意味について丁寧な指導を行います。
- ・指導時数の増加を図ったり、宿題や朝学習、学習タイム等で復習を重点的に行います。
- ・個別の指導の充実を図ります。

【改善策】◆学びの拡がり・つながりを意識した学習の取組を進めます。

- ・いくつかの単元の学習を関連付けた内容の学習に取り組みます。
- ・日常生活や体験と関連付けたり、生活に生かすことができるように、実験等で学んだ内容をしっかりと振り返ります。

【児童質問紙】

家で宿題をするなど、家庭学習の習慣は身につけていますが、学習時間の目安(6年生70分)は達成できていません。また、メディアに触れる時間が長く、家庭での読書時間が少ない状況が見られました。「いじめはどんなことがあってもダメ」と回答した児童が100%、「地域の学習をよくした」「地域の行事によく参加した」という回答が全国より高くなっています。

【改善策】◆家庭学習強調週間・読書強調週間などを継続し、望ましい習慣の定着を図ります。

- ・家庭学習での優れたノートや優れた取組を全校で紹介し、家庭学習への意欲付けを行います。
- ・読書週間や「ブックトーク」、児童会活動での「推薦本紹介」などに取り組み、読書への関心を高めながら、読書習慣の定着を図ります。
- ・毎日の学習に役立つ宿題を出すなど、宿題や家庭学習の大切さを実感させながら、学習習慣の定着を図ります。